



すべてを出し切ってつないだ絆 市駅伝大会



アンカー津村君のゴール前の激走！

和歌山市暗唱大会に、向陽中から各学年3チームと個人3名が出場しました。各チームは、作品選びから、

パートの分担、場面や感情を表現するための工夫など、何度も何度も意見を戦わせながら、5分間の発表を創り上げます。1日に行われた大会では、群読の部で「レ・ミゼラブル」を発表した1年生チームが優秀賞を、「春の朝」を発表した3年生チームがロータリークラブ賞を受賞しました。舞台上立ち、思いっきり表現する経験は、度胸がつくとともに、人前で話すことへの自信になります。そして、一つの発表を創り上げる過程は何よりも楽しい。この経験を通して、入賞できなかった人もきっと成長を味わえたことでしょう。

声を創り上げる楽しさ 市暗唱大会



「レ・ミゼラブル」を発表した1年生チーム

お互いの違いを理解する 1年生留学生交流授業



9日、和歌山大学の中国・マレーシア・フランス・イギリスからの留学生

5名が向陽中を訪れ、1年生と交流しました。それぞれの国の紹介のあと、一緒にクイズを楽しみました。この交流会のために1年生はウエルカム横断幕を作り、留学生の名前を毛筆で色紙に書いてプレゼントしました。クイズは、留学生が日本に来て「美味しいと思ったもの」「値段が高い・安いと思ったもの」「行ってみたいところ」などを班対抗で当てるものでしたが、答えが出るたびに大歓声が上がリ、留学生から見た日本の印象や見方の違いがよく分かり興味津々でした。生徒の感想から「もっと英語を話せるようになって交流して、いろいろな価値観を知りたい」と意欲を新たに持つことができたようです。

寄せ植えがきれいに咲いています 2年技術科

2年生技術科の栽培分野では、生徒一人ひとりがプランターに思い思いの植物を植えます。色彩やバランスにこだわり、大切に育てた寄せ植えがきれいに花を咲かせています。

